

ブルンジ月報（２０２５年７月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のンダイシミエ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 1日、独立63周年記念式典に参加。スピーチにて自立を訴え、6月の下院・郡議員選挙を「外部の資金も技術も使わず自分たちで実施できた成熟の証」と位置づけた。また、野党が同選挙の結果に対する非難の書簡を野党がAUやEACなどに送付したことを批判し、ブルンジは独立しており、いかなる国も国際機関もブルンジに意見を押しつけることはできないと主張した。
- 17日、ロウレンソ・アンゴラ大統領の任命により、サヘル地域のAU特使に就任。

内政に関し、

- 3日、新たに区画された5州について、それぞれ5人の新州知事が就任。なお、新たに任命された州知事は全員与党CNDD-FDD 党員。
- 23日、上院議員選挙実施。上院13議席のうち、与党CNDD-FDD 党員が直接選出枠10議席及びツワ民族枠3議席を全て獲得した。

外交に関し、

- 5日、AUは、ソマリアにおけるAU平和維持ミッションの下で展開されているブルンジ治安部隊の駐留を本年12月末まで延長することを承認。

2. 経済

- 2025会計年度予算は、支出額5,258億6,000万BIF（前年度比10%増）、歳入額4,821億8,200万BIF（前年度比14.5%増加）であり、436億7,800万BIFの赤字を見込む。

3. 開発協力

- 31日、国産コーヒー38トンの中国への初出荷に際し、記念式典が開催され、駐ブルンジ中国大使や農業当局等が出席。本初出荷は欧州市場依存から脱却し、多角化に向けた第一歩と評された。

（了）